



吉野山周辺MAP

は元来、お花見のた  
と同時、淡いピンク  
の花が開きます。  
全国他の桜の名所  
と違い、吉野山の桜  
は元来、お花見のた

四季彩々

歴史が生んだ桜の名所  
吉野山の桜



春は桜、桜は吉野」と昔から愛され  
た吉野山の桜は、四月上旬から下旬ま  
でかけて、麓から尾根までをピンクに  
染め上げることで有名。春霞の中で山  
全体がほんのりと浮かび上がる優雅な  
景観は、まさに日本の春を代表する景  
色の一つと言えるでしょう。

現在吉野山を彩る桜は、約二百種、三  
万本。そのほとんどが「シ  
ロヤマザクラ」で、若葉

めに植えられたものではなく、「信  
仰の桜」として、現在まで大切に保護  
されてきたものです。  
歴史は約千三百年前(奈良時代)にさ  
かのほりですが、当時は、山々には神  
が宿ると信じられていました。のちに  
修験道の開祖と呼ばれるようになった  
役行者は吉野の山に入り、厳しい修行  
の末、民衆を救う神としての蔵王権現  
を感得し、その像を桜の木に彫ったと  
いわれています。そしてそれを吉野山  
に祀ったことから、桜が神木として大  
切にされるようになったと伝えられて  
います。以来、彼の信者たちが桜を植  
え続け、やがて桜の名所になりました。  
吉野山といえは豊臣秀吉が、家康や茶  
人、連歌師など総勢五千人を伴い開い  
た「吉野の花見」が有名です。山に入  
ってからは、三日間も降り続いた長雨  
でしたが、秀吉の命令のもと、吉野全



●開花期 四月上旬・中旬  
●アクセス 近鉄吉野線吉野駅下車、ロープウェイで三分  
●問合せ先 吉野町役場文化観光課 TEL. 07463-2-3081



迎春

明けましておめでとございます。

梅栄堂社長 中田信浩



早いもので、私が社長に就任いたしま  
して、今年で五年目に入りました。そ  
の間経験不足もあったと思いますが、  
なんとか無事にやってこられましたの  
は、みなさまのお引き立てのおかげと  
思っております。

また一昨年、昨年と新しいタイプのお  
線香「残香飛」「二期香」を発売させて  
いただきました。マスコミからもたい  
へん注目をいただき、おかげさまでこ  
好評をいただきました。このお線香を  
きっかけに、梅栄堂のお線香を使っ  
ただけようになったお客様もいら  
っしゃいまして、たいへんありがたい

ことだと思っております。  
とはいえ、梅栄堂といしましては、  
基本はあくまで伝統を引き継ぎ、天然  
香料を使用しました高級線香を中心にお  
届けさせていただきたいと考えており  
ますので、今後ともよろしくお願い  
いたします。  
ご承知の通り、天然香料はたいへん希  
少でございます。沈香は高品質なもの  
が少なくなりつつありますし、白檀は  
高値をよんでおりますので、いい香料  
を仕入れるのが難しくなっております。  
おかげさまで梅栄堂といまして  
しては、長年の経験とお付き合いで、

品質のよい天然香料を確保させていた  
だいておりますので、それを生かして、  
より高品質のお線香をお届けできるよ  
う伝統だけに甘えず、日々研究を重ね  
ていきたいと思っております。  
メーカーといしましては、何より現  
場第一主義で、品質管理に重点をおい  
てまいりましたが、今後はそれに加え  
て、梅栄堂のお線香をより多くの方に  
も認知していただけるよう、社員一丸  
となって、いっそうの営業努力を心が  
け、精進してまいりたいと思っており  
ますので、本年もどうぞよろしくお願  
いいたします。

山の僧たちが晴天祈願を行い、翌日  
は一転晴れ上がり、豪華絢爛たる花見  
が催されたというエピソードも残って  
います。吉野山の桜は四月上旬に下千  
本から咲き始め、中千本、上千本、奥  
千本と順に山を這い上がるように咲き  
上げます。毎年この時期には数十万人  
の観光客で賑わいます。